

幼保連携型認定こども園おおぼし保育園 自己評価結果の報告の件

令和4年度の自己評価については、「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」の各項目に基づき行いました。保育教諭、看護師、栄養士、調理員、高齢者活躍推進員の計24名で行いました。以下はその結果の集計です。

(単位：%)

区 分	十分理解し 実践できた	理解し実践 できた	普通にでき た	もう少し努 力が必要
I 園の基本姿勢 教育・保育理念や目標、こども園の社会的使命、職員としての心構え	53.0	44.3	2.7	0
II 教育・保育要領 1 総則 教育及び保育の基本並びに内容、指導計画の作成と園児の理解に基づいた評価、特別な配慮を必要とする園児への指導	36.2	45.5	10.5	7.8
2 ねらい及び内容並びに配慮事項 乳児期の園児・満1歳以上3歳未満児・3歳以上の園児それぞれの保育に関するねらいと内容、教育保育の実施に関する配慮事項	44.5	48.0	6.1	1.4
3 健康及び安全 健康状態や発育及び発達の常態の把握、環境及び衛生管理、施設・設備等の安全確保「、地域の関係機関との連携	50.1	47.2	2.7	0
4 子育ての支援 子育て支援全般に関わる事項、保護者に対する子育て支援、地域における子育て支援	34.1	49.2	16.7	0

認定こども園教育・保育要領の理解度及びその実践結果は、上表のとおりであった。

令和5年度も引き続き、当該要領の位置づけ、内容について、園内研修を実施していくこととします。

- ①間違いを防ぐ
- ②先生同士のコミュニケーション
- ③コロナ禍、収束する兆しも見えず、今後の教育・保育の在り方（行事、普段の保育、食事等）全ての業務を見直して、皆で工夫を施しながら考え、より良い教育・保育を実践していく。